

報道関係者各位

レストランマネジメントー新規レストラン事業計画プレゼンテーションを実施  
昼間部ホテル科・英語専攻科 授業の総括として課題発表会

専門学校日本ホテルスクール（所在地：東京都中野区 校長：石塚 勉）の昼間部ホテル科・英語専攻科2年生はレストランマネジメントの授業の総括として新規レストラン事業計画プレゼンテーション（課題発表）を1月13日（木）と14日（金）に実施しました。このプレゼンテーションは、レストランマネジメントで学んだ授業のみならず、これまでに体得したホテルマーケティング・ホテル会計・飲料解説・情報システムなど複数の科目の内容を活かしながら課題に取り組み、学びの集大成として位置づけています。



レストランマネジメント 校内発表会の様子 L1 グループ「CONTIGO」  
“食で地中海旅行”をコンセプトとしたスペイン料理を提供

レストランマネジメントの授業では、レストランビジネスの基本から業界の現状、経営の問題や課題までを理解するとともに、時代の変化によって求められることが変わるレストランの開業までのマネジメントから開業後のマネジメントまでの「プロジェクトマネジメント」から開業後の「オペレーショナルマネジメント」まで幅広い内容を実際の数値をもとに学んでいます。

今年度は「SDGs × 集客できるレストラン」をテーマに、各チームがホテル内、商業施設内など立

地を設定し、新規レストラン事業計画を立案します。新型コロナウイルス感染症の世界的拡大という環境も配慮した事業展開を考え、プロジェクトリーダー、会計担当、F&B担当、テーブルコーディネーター担当、SNS担当など必要な職種をチームごとに決定し、それぞれの学生が役割を担いプレゼンテーションに向けて準備しました。そしてプレゼンテーションは新規レストラン事業を展開することを目的とした架空の投資家役を務める講師の皆さんに向けて実施します。



レストランマネジメント 各チームの校内発表会の様子  
「SDGs」に関連した多様な提案も発表されました

プレゼンテーションは、新規レストラン事業計画や店舗コンセプトをはじめ、店舗デザイン、財務管理P/L（損益計算書）などレストラン事業を立ち上げるために必要な項目を発表します。また、店舗のWEBページの作成やユニフォームデザインなどの項目に加え、レストランで提供するランチ・ディナーメニュー、ワインリストやビバレッジメニューなどのフードメニューを作成します。各チーム10分の発表時間内に、これらの項目を発表するとともに、店舗内で演出するテーブルコーディネーター、ペーパーアイテムをオリジナルで作成し、事前に作成したノンアルコールカクテルとオードブル、またはデザートそれぞれ1品を写真で披露し、レシピを紹介します。



店舗内で演出するテーブルコーディネーター（左）  
プレゼンテーション終了後に審査員を務める講師の皆様へ披露する学生（右）

課題発表会では、レストラン経営を専門とする講師や学校内の教職員 6 名による審査を行いました。学生からは「自由と新しさ」をコンセプトとした「食で地中海旅行」をテーマにお客様の生活に合わせたさまざまなサービスができる店舗、「地方にある遊園地を復活させる」、「地域を活性化させる」という“再出発”と観覧車レストランという新しい発想や SDGs への積極的な取り組みという“近未来”をコンセプトとしたイタリアンレストランなど、さまざまな事業の発表が行われました。

セールスプロモーションにおいては代表的な SNS であるインスタグラムを開設したプロモーション戦略なども提案されるとともに、今年のテーマである持続可能でよりよい世界をめざす国際目標である SDGs の 17 のゴールに照らし合わせた取り組みも提示されました。

全 22 チームの審査終了後、最も高く評価されたのは L-1「Contigo」(昼間部ホテル科 2L クラス)。そして次点に F-1「Re vicino al futuro」が選ばれました。今年度は、昼・夜間部ブライダル科が実施する「ブライダルゼミ」、夜間部ホテル科が実施する「ホテルゼミ」と合同で卒業発表会を実施します。昼間部ホテル科・英語専攻科が取り組むレストランマネジメントゼミからは、最も高く評価された上位 2 チームが選抜され、発表を行います。

新規レストラン事業計画プレゼンテーションを通して、レストラン事業の立案を経験し、改めてレストランを運営するために必要な知識や考え方を理解する機会になります。課題を通して、クラスの仲間とのチームワークやコミュニケーションの大切さを共有することもできたようです。審査員を担当した教職員は「入学直後のときと比較すると学生のサービス力・発想力に成長を感じた」と評価するとともに「今回経験したことをいろいろな場面で活かして欲しい」とエールを送っていました。

以上

---

■この件に関するお問い合わせ

学校法人日本ホテル学院

専門学校日本ホテルスクール

教育部 上野 広報部 島田 北條

TEL: 03-3362-5001 FAX: 03-3360-6177 URL: <https://www.jhs.ac.jp>

JHSPR-21-13